

職員ワークショップまとめ

1 目的

これまで松本市の図書館が担ってきた役割や機能を生かしつつ、社会状況の変化や市民ニーズの多様化に合わせた次代に引き継ぐ松本らしい、市民のための図書館のあり方について、職員それぞれが考え、その結果を共有する。

2 概要

実施日 令和元年 12 月 27 日(金) 9:15～11:30

参加人数 全館職員 55 人中 52 人 7 グループに分けて実施

内容 (1) 誰のため、何のための図書館か

- ・図書館に求められる役割や機能とは
- ・中央館と分館の役割とは

(2) (1)を具現化するための図書館サービスとは

(3) (1)を具現化するための図書館の施設整備とは

について、図書館を取り巻く社会的動向や日々の業務で感じていることを踏まえて自由に意見を出し合う。

3 結果

各グループ意見数

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 計 |
|------|-----|-----|----|----|-----|----|-----|-----|
| 役割 | 48 | 44 | 42 | 43 | 50 | 34 | 49 | 310 |
| サービス | 44 | 29 | 25 | 29 | 42 | 14 | 33 | 216 |
| 施設 | 34 | 28 | 23 | 20 | 25 | 20 | 29 | 179 |
| | 126 | 101 | 90 | 92 | 117 | 68 | 111 | 705 |

主な意見・アイデアのまとめは別紙のとおり

職員ワークショップ（2019.12.27）

| (1) 図書館に求められる役割と機能 | | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 知る・学びを支える | 課題解決の支援 | 交流の場 | 中央図書館 |
| 地域の知の拠点 | 課題解決型図書館 | 子どもと本をつなぐ | 基幹図書館 |
| 知の拠点 | 暮らしの問題を解決 | 本と人との出会いの場 | 分館を支える |
| 地域を支える情報拠点 | 趣味、興味のあることを深める、楽しむ、学ぶのお手伝い | 地域の交流の場 | 分館網整備 ネットワークを駆使した図書館サービス |
| 住民の知る自由の保障 | 暮らしに役立つ 仕事に役立つ | 他市、他館との連携・交流 | 司書の育成（スキルの平準化かつ専門化） |
| 昔から受け継がれているものを次の世代へとつなぐ場所 | レファレンスの充実 | 生きがいづくり（老若男女）の場 | 基幹図書館として資料の充実 |
| 多様な蔵書がある場所 120万冊 | 様々なニーズに対応できる | 本を読むだけでなく様々なコミュニケーションの場（拠点）となる場所 | 全市サービス |
| 貴重な資料にふれる | 情報提供の場（求めに応じた） | 人とのつながりを広げる場（講座、ワークショップでもなく） | 分館 |
| 専門的分野のもの、勉強できる場所 | 市民の情報活用能力の向上（情報リテラシー教育） | あたたかみがある交流の場 | 足を運びやすい身近な図書館 |
| 多くの蔵書で「市民の知りたい」に対応 | 学習支援 | 社会から孤立する人の交流の場にする | その地域に密着した身近な存在 |
| あらゆる手段で情報を得られる場所 | 役に立つ情報がきちんと提供できる | 複合施設との連携による交流 | 地域のコミュニケーションの拠点 |
| 情報を誰もが共有できる場所 | より専門的な知識を提供 | 知の交流拠点 | 地域に根ざした活動（講座等） |
| 個人の知的好奇心を満たす、伸ばす | 情報化の推進 | | 地域とのつながり・連携 |
| 利用者の求める情報や資料が提供できる | 誰でも みんなの | 居場所 | 近所の窓口としての分館（要望が言いやすい、本を受け取りやすい） |
| 誰もが利用できる情報の宝庫 | すべての年齢層のニーズに対応した図書館 | 滞在型図書館 | 地域の特性を活かす分館 |
| 知の交流拠点 | 言語や身体的に不自由な人にも対応できる図書館 | 居場所としての図書館（地域の、市民の） | 憩いの場 |
| 目指す資料の入手が容易で居心地の良い場所 | ユニバーサルデザイン、バリアフリー | いつでも誰でも居心地の良い場所 | いつでも気軽に行ける近くの図書館 |
| 資料の収集、保存 | 入りやすい雰囲気、特に目的がなくてもふらっと立ち寄れる | 居心地の良い | 地域のコミュニティの場所 |
| 読みたい本が読める場所 | 本にあまり興味がない人にもアプローチ（子連れ→親がつまんないなど） | 何度でも来なくなる図書館 | 分館と小学校、公民館との連携 |
| 地域に関する資料の提供 | 色々な人が使いたい、居たいと思う場所 | 長く居ても安心していただける | 交流、居場所の提供 |
| あらゆる情報や検索ツール等、幅広く専門的な情報 | 利用者の視点にたった図書館 | | 蔵書の役割分担 |
| 資料（紙媒体、デジタル媒体等を含む）の提供 | フリーな時間ができた時、「あっ、図書館に行きたい」と思ってもらえる | | 各分館により利用者のカラーが違う（それを活かした分館づくり） |
| 本・新聞・インターネット・データベース等からの情報で知的活動を支える | 地域の方や障がい者でも利用しやすい施設 | | より地域に密着したサービスの提供 |
| 資料収集（専門的） | 子どもから大人まで気軽に | | 身近で役立つ |
| 地域大学との連携による資料収集 | 新たに求められるニーズに対応 | | それぞれの特色を生かす |
| 若い人も年を召した方も求めているもの（情報、資料）を提供できる場所 | 子ども、子ども連れが遠慮せず楽しく我慢せず使える図書館 | | 地区の人と中央を結ぶ |
| 本との出会いの場 | より多くの市民が利用 | | |
| 生涯学習の場 | 誰でもいつでも資料を見たり借りたりできる施設 | | |
| | 無料 | | |
| | 生活を豊かにする場 | | |

職員ワークショップ（2019.12.27）

（3） より良いサービス提供のための施設

| 利用者エリア | | | | 駐車場等外構 | |
|---------------------------|------------------------------|---|---|--|----------------------------------|
| 照明のLED化(省エネ・エコ) | C D、DVD視聴ができるスペース | 静かなエリアとにぎやかなエリアのゾーニング | カウンターの改修、動線 | キッズスペース | 駐車場を駐車券式にする |
| 適切な照度の維持 | 視聴覚機材を備えた会議室 | こども広場みたいな自由に遊べる場所 | レファレンス専用窓口を複数、貸出カウンターと離す | 手洗い場に子どもを座らせるイス | 駐車場の拡大（100台規模） |
| 快適な空調 | 学生のためのスペース | 交流や商売が可能で会話ができる多目的スペースの確保 | 不審者に強い人、警備員（館内及び駐車場）の配置 | ベビーカーの貸出し | 地下駐車場 |
| 網戸の設置 | 静かに本、勉強ができる場所 | 飲食可のスペース | 総合受付、入り口を一つに | 親子でゆっくり図書館を利用できるよう、児童図書コーナーの設備充実 | 国宝旧開智学校と合わせた駐車場の整備 |
| エリア管理が可能な空調 | 勉強スペースのしきり | 学習スペースの充実 | ICタグ化しないなら、防犯を徹底 | お子さんが遊んでいる間に、お母さんが一人で本を選ぶ時間を子ども連れでも一般書コーナーの行き来をしやすいよう通路を | ドライブスルー方式のブックポスト |
| エレベーターの改善 | 個人スペース（カウンター席とか） | 各館に学習スペース | 通路の広さ、物、棚の場所 | 授乳室とおむつ替えの場所は別がいい | 出入りしやすい駐車場 |
| トイレの洋式化と拡張 | 学習席 個別机を増やす（コンセント付、持込パソコン対応） | 書架の配置の工夫（請求記号順ではなく、関連する主題で） | バリアフリー施設 | | 立体駐車場と2階連絡通路 |
| トイレセンサーライトの設置 | 社会人席増設 | 静（個を大切にしたい人）と動（コミュニケーションを求める人）を使い分けるゾーン分け | 読書通帳機 | 子ども用トイレ | 道が狭いので広くする |
| センサー式手洗いの設置 | わかりやすいスペース分け | | サイン板の一新 | 多少うるさくても「子どもだから」という空気感が出せる全体の雰囲気 | ドライブスルーで本の返却ができるブックポスト（できれば開館中も） |
| 手洗い場の増設 | 声が響きにくい設計 | 快適な空間を作る | 外国語案内 | 1階にフロアカーペット | 駐車場までの道（狭くて歩行者、自転車危険） |
| 書架の増設 開架スペースの拡充 | 静かにするところ、少し声を出してもいいところの区分け | イスや机などを快適で新しいものにする | 電光掲示板、待ち番号の表示（利用者登録、書庫出しなど） | 利用者端末を増やす、回線の増強 | 旧開智学校と連携できる施設 |
| 展示スペースの拡張 | 読書スペースの充実 | きれいで落ち着いた、毎日来たくなるような図書館に（清掃の徹底等） | 館内の場所案内の表示（トイレ、水飲み場、自販機）を増やす | インターネット席の充実 | |
| 展示ケースの増設 | 声が出せる閲覧スペース | エアコン、wi-fiなどの図書館機能の充実 | どこに、どの情報（資料）があるかわかりやすく表示する | Wi-Fi環境の整備 | |
| ユニバーサルデザイン | 小さめのセミナー室 | 過ごしやすいスペースづくり | 情報の掲示がしやすいよう磁石で壁にポスター等を貼れる | PC席の拡大 | 作業エリア |
| バリアフリーの充実（ピクトグラム活用もあり） | 資料を持ち込めるディスカッションルームを設ける | 居場所としての環境を整える | 正面入り口に返却専用カウンター、コンシェルジュ的な | コンセントの整備 | 書庫に検索端末 |
| 障がい者、高齢者、子ども連れなどを利用しやすくする | グループが使いやすい10人程度の会議室を複数つくる | YAの興味をひくスペース | 総合受付的な役割でレファレンスカウンターの拡大 | 学習席等の予約受付システムの導入 | 保存資料専用の書庫を造る |
| 車いす スロープ | 一般書、児童書を階で分けない、同じ階にする | 騒いでも良い飲食できるスペース | 貸出、返却カウンターの職員は立っていたほうが良い | 中央図書館前面のガラスは危ない | 児童から書庫へのスロープ設置 |
| 据え置き型拡大読書器、自動読みあげ機の導入、専用席 | 1階に談話室（飲食可） | 商売もできるスペース | 案内を英語併記にする | スターボックスのようなカフェの併設 | 2階からM1への階段、スロープ設置 |
| 高齢者等、体が不自由な人が利用しやすい施設整備 | 3階ロビーのフリースペースの拡張 | 交流スペースの充実 | 団体の本棚が高すぎる→2階建てにする | 複合施設にすると、他部署と連携しやすい | 書庫の充実（開架の3倍の書庫） |
| 外国人も利用しやすく（この本はこちらとかを英語で） | フリースペースがある | 身障者用等駐車スペースへのインターホン設置（補助依頼） | 赤ちゃん休憩室を広く快適に | 日常的に使えるように（他施設と一緒にする） | 作業スペースが点在しすぎている |
| 幅広い利用者が誰でも利用できる設備を整える | 不審者対策 | 障がい者サービス、手話、車いすの方など、施設の整備 | キッズスペースや幼児、子育て親子の交流のスペースを作る⇨静かな読書できる場所の確保 | 図書館のみではなく、他の施設や商業施設との複合施設とすると、便利で密度の高いものができ、活性化にもつながる | 事務スペースの効率化 |